

第 1 章 公園配置計画の目的

第1章 公園配置計画の目的

1-1 計画の目的

市は、都内各市と比較して、市立公園の総面積は中位ですが、公園数は267（平成29年12月現在）と多く、小さな公園が分散しています。また、地域によって公園が充実している地区と公園が少ない地区もあるなど地域格差が課題となっています。さらに少子高齢化、市民ニーズの多様化による公園を取り巻く状況も変化しています。

このような状況や多様化する市民要望を踏まえ、第2次総合計画に基づき、公園施設の有効活用、公園の充実、公園施設のリニューアルやバランスのとれた公園配置と公園整備を視野に入れる一方、財源確保の方策を考慮しながら検討していくため計画を策定します。

「健康」応援都市が取り組む公園づくり

計画は、市が進める「健康」応援都市の実現を目指して、市民の生活をさらに豊かで健康なものにするための公園づくりや適正な配置等の実現を目的とします。それにより、将来にわたって「住み続けたいまち」、「住みたいまち」として選択され続けるための、市民一人ひとりのこころやからだの健康やまち全体の健康の達成を目指します。

また、計画の策定や実施を市民協働で推進することで、公園づくりに参加する市民を増やし、運動やつながり、生きがいを創出する機会を創出するなど、公園を拠点とした地域コミュニティ形成や健康づくりの促進を目指します。

市民協働の計画策定を目指して

公園実態調査では、調査への参加を通して、市民に市の公園の現状や課題について実感してもらいました。計画では、調査を通してさらなる公園づくりの知識や経験を得た市民とともに、市の公園を取り巻く様々な課題を解決し、地域の生活実感を伴う持続可能な計画の策定を目指します。

ここがポイント

- ・「健康」応援都市として、公園を拠点に、市民の生活をさらに豊かで健康なものにするための計画づくり
- ・市民協働で計画の策定や実施を推進することで、公園づくりに関わる社会参加の機会を創出する

1-2 計画の検討の体制

市民協働の場として、市民ワークショップを開催し、公園づくりの活動をしている団体及び個人や公園づくりに関心がある市民とともに検討しました。また、有識者、公園ボランティア及び公募市民を委員とする公園市民懇談会を開催し、より広義な内容についても市民とともに検討しました。

また、組織を横断した公園配置計画策定庁内検討委員会を立ち上げ、施策等を検討することで、より実現性の高い計画を目指しました。



図 1.1 検討の体制

1-3 計画の検討の流れ

計画では、全2回の市民ワークショップ及び全5回の公園市民懇談会を主体に、市民協働で検討しました(図1.2)。有識者、公園ボランティア及び公募市民を委員とする公園市民懇談会では、市民ワークショップで協議した内容の実現に向けて検討するとともに、より広義な内容についても議論を深めました。また、計画案がまとまった段階において、市のホームページより市民の方々の意見をお聞きするためパブリックコメントを実施し、頂いた意見について検討しました。



図1.2 検討の流れ

1-4 計画書の構成

序章では、計画の策定にあたる背景や考え方について、第1章では、計画の目的について示します。第2章では、公園実態調査を踏まえた現状と課題について整理します。第3章では、「健康」応援都市における公園づくりについて計画の具体的な内容を示します。第4章では、市民ワークショップで出た意見を踏まえながら、前章の内容のうち、市民協働による小規模公園の活用の方法やアイデアについて具体的に示します。第5章では、今後のビジョンとして具体的な公園の配置の考え方やこれからの公園の利用の推進についてまとめます（図1.3）。

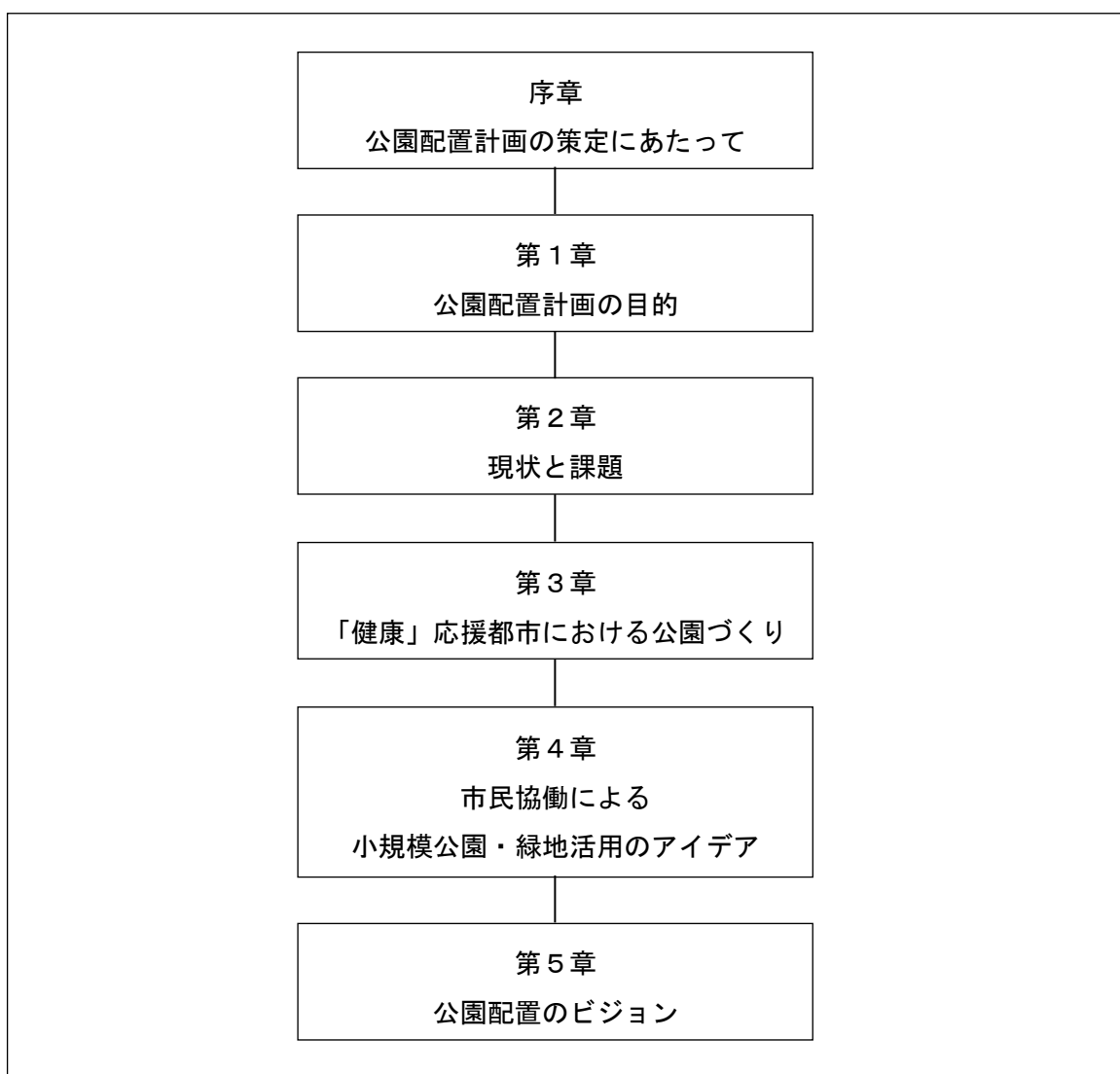


図 1.3 計画書の構成

